

# Abstract

AROMA RESEARCH No.75(Vol.19 No.3)

精油は放射線の影響を抑制するか？

工藤 健一

---

<要旨>人類の精油の使用は大プリニウス以前からと非常に古く、また 18~19 世紀にはその薬効についての調査がはじまっているが、その分子メカニズムについては現代でもまだ不明な点が多い。モノテルペンの研究は抗菌活性など多岐にわたっているが、酸化活性の研究はその中でも特に多く、生体や細胞への有効性について現在も議論されている。ここでは 2017 年度に金沢市で開催された「第 61 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会」で発表した内容をもとに、哺乳細胞を対象とした放射線防護効果の実験と、モノテルペンおよび精油の有用性について概説する。

<キーワード>モノテルペン、リナロール、放射線、放射線防護剤、DNA 酸化損傷